

セキュリティコンサル

年収の全真実

450 万～ 3,000 万円の格差を解剖

スキル・資格・所属先で変わる報酬戦略



年収の相場が知りたいでしゅ

戦略次第で 1,000 万超えるぞ



【解説に入る前に】サービスのご紹介



セキュリティプロ・フリーランス

セキュリティに特化したフリーランス案件の
マッチングサービス

- ✓ 最高月収 150 万円・月額 80 万円以上の案件が 80% 以上
- ✓ リモート率 80% 以上、フルリモート案件多数
- ✓ セキュリティに精通した専任エージェントが営業・単価交渉・契約を代行

[詳細を見る →](#)



セキュリティプロ・テンショク

セキュリティエンジニア / コンサルタントに
特化した転職エージェント

- ✓ 最高想定年収 1,200 万円・利用者の 85% 以上が年収アップ
- ✓ 取扱求人の約 7 割が非公開求人
- ✓ 技術がわかるアドバイザーが書類添削・面接対策・年収交渉を代行

[詳細を見る →](#)



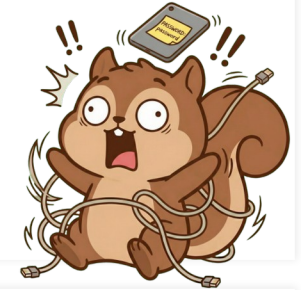
どちらも登録・利用は完全無料。在職中・フルリモート希望でも相談できます。
まずは市場価値の無料相談から。

● 平均年収と年収レンジの全体像



平均年収の目安

約 889 万円（公的統計・設計コンサル区分）



年収レンジの幅

公開求人では 450 万～ 3,000 万円と非常に広い



年収差が生まれる本質

経験・所属先・専門領域の掛け合わせで決まる

● IT 職種別の年収比較

セキュリティコンサル

設計・コンサル区分 約 889 万円

- ・運用・インフラ系区分より約 280 万円上
- ・専門性・希少性がそのまま反映

VS

他の IT 職種

平均 579 万～ 610 万円

- ・その他の情報処理・通信技術者：約 610 万円
- ・ソフトウェア作成者：約 579 万円



差のポイント

コンサル・設計へ転身すると区分差は約 280 万円

● 年代別の年収推移

1

20代～30代前半

公的統計で 477 万～ 866 万円。基盤スキル習得期。登録セキスぺ取得で上位へ

2

30代後半～40代

公的統計で 968 万～ 1,226 万円。マネジメント経験の有無で年収差が明確に広がる

3

40代後半～50代

1,200 万円超が現実的。パートナー職は公開求人で 2,500 万円

今の自分の位置を確かめろ



● 年収を左右する 5 つの要因

1

保有資格

CISSP ・ 登録セキスペは上位職位 ・ 上流案件の要件になりやすい

2

専門領域

クラウド ・ OT ・ AI セキュリティは需給逼迫で上振れしやすい

3

所属先の種類

Big4 コンサルから中堅 Sler まで、同スキルでも年収が倍以上変わる

4

経験とマネジメント

7 年目前後でマネジメント有無が年収差を生み出す

5

英語力

TOEIC860 点以上でグローバル PJ リード可能。職位と案件の幅が広がる

● 仕事内容と 1 日の流れ

主な仕事内容



診断・ペネトレーション

脆弱性特定・リスク分析・報告書で優先度を可視化



提案・ポリシー策定

対策ロードマップと規程整備を経営層に提言

1 日の流れ（例）



午前：調査・報告書作成

脅威情報収集・診断結果分析・レポート執筆



午後：顧客 MTG ・提案

クライアント説明・次フェーズの計画立案

● 高年収を狙える専門領域



クラウドセキュリティ

AWS/Azure/GCP 設計人材が圧倒的に不足



OT セキュリティ

製造業 DX で工場・制御系の需要が急増



AI セキュリティ

生成 AI リスク評価は専門家がほぼ皆無

需給逼迫領域では同スキルでも年収が上振れする傾向



● 所属先別の年収と特徴

高年収ルート



Big4 コンサルファーム

500 万～ 2,500 万円（職位別公開求人 7 社）。昇進で最大の伸び



専門セキュリティファーム

450 万～ 3,000 万円（コンサル公開求人 9 社）。技術特化の環境

安定・自由ルート



事業会社（CSIRT）

500 万～ 1,200 万円（GRC 担当の公開求人 4 社）。安定継続、CISO 就任なら大幅増



フリーランス

月 50 万～ 180 万円（当社案件 118 件）。稼働・案件は自由

● 年収 1,000 万超のキャリアパス



コンサルファーム昇進

マネージャー昇進（5～8年目）で1,050万～1,550万円



CISO 就任

大手企業で1,300万～2,300万円。コンサル経験が高評価



フリーランス独立

要件定義・PMOは中央値100万～115万円。指名される実績が前提



3ルートに共通する鍵は「希少な専門性」と「積み上げた実績」

● 求められるスキルセット



技術力（土台）

脆弱性診断・ログ分析・クラウド設計の実務力



コミュニケーション力

経営層へのリスク説明・折衝力の高さ



年収差を生む本質

ビジネス視点を加えると上位の職位と年収に届きやすい

● 資格ロードマップ



中級：登録セキスペ

合格率約 20%。支援士記載の求人は中央値 650 万円



上級：CISSP

実務 5 年以上が受験要件。CISSP 記載の求人は中央値 650 万円



取得の優先順位

まず登録セキスペ→実務 5 年超で CISSP が王道

● 将来性と AI 時代の展望



市場成長率

年平均 13.5% で拡大。ランサムウェア被害は高水準継続



AI との共存

定型処理は AI が担い、判断・説明は人間の専門性が必須



キャリアの結論

AI 活用 + 希少専門領域でコンサルの市場価値は上がる一方



● まとめ | 年収最大化の 3 つのアクション



公的統計で約 889 万円。専門領域・資格・所属先の選択で 1,000 万超は十分現実的



クラウド・OT・AI セキュリティなど需給逼迫領域にポジションを取ることが最速の近道



登録セキスペ→ CISSP の資格取得と実績の積み上げで市場価値を可視化する

NEXT ACTION

まずは市場価値の無料相談・登録

[セキュリティプロ・フリーランス >](#)

[セキュリティプロ・テンショク >](#)

